特集 ～呉市・広島大学Town&Gown（タウン アンド ガウン）構想～

世界とつながる 知と海洋・海事の拠点づくり

新たな海洋・海事の拠点づくりを目指し、呉市と広島大学などが協力して取り組んでいる「呉市・広島大学Town＆Gown構想」。今回はその進捗をお伝えします。

問 企画課 ☎(0823) 25－3273



▲呉湾の風景

アジアにおける 海洋・海事の拠点を目指して

呉市では、呉市が持つものづくりや海運・造船などの伝統、環境、そして広島大学が持つ知識や人材、世界とのつながりを生かしながら、海にまつわる「知の拠点」づくりに取り組んでいます。

この取り組みでは、日本中、世界中から若い研究者が呉に集まるようなアジアにおける国際的な海洋・海事の拠点づくりを進めています。また、海に関わる先進的な研究や、企業・若い人たちが挑戦できる場づくり、そして、子どもたちが海洋・海事の魅力や可能性を感じる機会を充実させます。

今後も、呉市が「海洋・海事教育研究のふるさと」、そして「海洋・海事と言えば呉」と世界の誰もが思い浮かべるまちを目指します。

Town＆Gown（タウン アンド ガウン）構想とは

市（タウン）と大学（ガウン）が連携して取り組む構想。呉市と広島大学はそれぞれの強みを持ち寄って、海洋・海事分野の課題解決や地域経済の活性化に取り組んでいます。

※大学を指すガウンは、大学の卒業式などで着るガウンが由来。

呉市・広島大学 Town＆Gown構想の 軌跡

令和5年に締結した「呉市・広島大学 Town & Gown 構想」の協定から約3年。関係するさまざまな出来事を振り返ります。

令和 月	おもなできごと
5 7	呉市・広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団が**「呉市・広島大学 Town & Gown 構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成などに関する協定」**を締結（写真①）
9	『呉市にアジアの海洋・海事の拠点をつくる』をテーマに、**「呉市・広島大学 Town & Gown 構想キックオフシンポジウム」**を開催
6 1	教育機関、海洋・海事に関わる団体、企業などが連携し、**「海洋文化都市くれ推進協議会」**を設立（写真②）
10	広島大学と推進する海洋リモートセンシングの取り組みが、国立研究開発法人科学技術振興機構による**「共創の場形成支援プログラム地域共創分野・育成型」**プロジェクトに採択
11	海洋・海事に関する仕事や研究、最新技術に触れることができる**「海洋文化都市くれ海博2024」**を開催
	日本船舶海洋工学会などが、毎年日本各地で開催している**「海洋教育フォーラム」**を海上保安大学校で開催



写真②



写真①

令和 月	おもなできごと
7 3	「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトの**「キックオフシンポジウム」**を開催
5	海上保安大学校の海神祭と合同で**「海洋文化都市くれ海博2025」**を開催（写真③）
6	市役所9階に**「呉市・広島大学 Town & Gown Office」**を開所（写真④）
7	キックオフシンポジウムに続き**「第2回公開シンポジウム『海の技術が拓く呉の未来』」**を開催
10	海洋・海事の新たな研究領域や技術、人材を生み出すため、**「広島大学海洋・海事未来研究所」**を設置
8 2	**「共創の場形成支援プログラム地域共創分野・本格型」**プロジェクトに採択 ※詳細は5ページ
5	昨年と同様、海神祭と合同で**「海洋文化都市くれ海博2026」**を開催（写真⑤）
7	広島大学が**「大学院海洋・海事系実践科学研究院（修士課程）」**の設置決定 ※詳細は4ページ
10	**「広島大学海洋リモートセンシング技術センター」**を設置（写真⑥） ※詳細は5ページ
	「くれマリンテック共創コンソーシアム」を設立 ※詳細は6ページ



写真⑥



写真⑤



写真④



写真③

海の知識と技術が集まるまち

呉市･広島大学Town＆Gown構想に基づき、海洋・海事の最先端の研究を行う広島大学大学院（修士課程）設置決定や、先端技術を研究する海洋リモートセンシング技術センターの設置など、さまざまな取り組みが進んでいます。

大学院の設置（令和9年10月設置予定）

広島大学は世界の海洋・海事分野を牽引する次世代人材を育成するため、令和9年に大学院の学位プログラム「大学院海洋・海事系実践科学研究院（修士課程）」を設置します。

この大学院では、15人の入学定員を予定しており、海洋・海事分野の知識を文理融合して学び、国際的な視野と教養を備えた人材を育てます。

呉市にキャンパスが新設され、新たな教育・研究拠点としてスタートします。



▲大学院海洋・海事系実践科学研究院(修士課程)で学ぶ学生のイメージ



◀大学院が設置される呉駅西中央ビル外壁に看板を設置

関係者の声

呉キャンパスから 海洋・海事の未来へ



広島大学
理事･副学長　金子（かねこ） 慎治（しんじ）さん

今、世界の海は、気候変動に伴う環境変化など、多くの課題に直面しています。こうした地球規模の課題に挑むため、これまでも広島大学では、先端的な研究開発や研究成果の社会実装、地域との共創を推進してきました。そして令和9年10月には「大学院海洋・海事系実践科学研究院」の設置を予定し、呉キャンパスの本格稼働に向けた準備を進めています。

国内外の研究者や学生、企業が集い、海洋の課題解決や国際的なルールづくりにも貢献する人材と技術を育む拠点を目指しています。大学・市民・企業・行政が一体となり、地域の可能性を広げ、呉から世界へ新たな価値を発信する場所になるよう、皆さんと力を合わせ、「海洋文化都市くれ」のさらなる発展に貢献します。

呉を海洋・海事の「芽」が集い・育つ場に



株式会社 豊國
代表取締役　山路（やまじ） 恵司（けいじ）さん

私たちは、主に船舶関係の計器の販売や整備、修理などを取り扱う技術商社で、「海に関わる技術」で島国の日本を豊かにすることを信条としています。

近年の海洋・海事分野の人材確保は、若者の大企業や都会への流出、「海に関わる技術」を持つ人材そのものの不足など、さまざまな課題があります。

呉キャンパスの設置により、海洋・海事を学ぶ若者が世界から集まり、「学ぶ場」「実践する場」そして「『芽』が集い・育つ場」として、多くの若者が若葉のように育ち、やがて大木となって世界で活躍する人材へと成長していくことを期待します。

広島大学海洋リモートセンシング技術センターの設置

（令和８年 10 月１日設置）

このセンターでは、人工衛星やドローンなどを使って海の水温や潮の流れなどを調べ、その情報を船舶の安全な航行やカキの養殖などに役立てる研究を行っています。

リモートセンシング技術を活用した取り組みが、共創の場形成支援プログラム（詳細はページ下部参照）に採択されたことから、より一層、この取り組みを推進するために開設されました。

※海洋リモートセンシング技術とは、衛星やドローンなどで遠隔から海の環境を観測し予測する技術のことです。



▲技術センターを紹介する様子

技術センターが目指すもの

1. 海を測る

人工衛星からさまざまなデータを観測し、海の状態を捉えます。

2. 海を理解・予測する

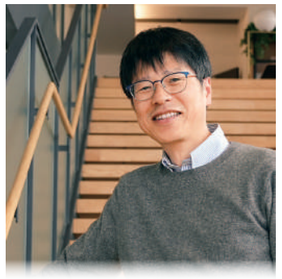
蓄積した海の情報から、産業や防災に必要な予測（海洋環境・水産生態系・沿岸環境など）をします。

3. 海の未来を共創する

海のデータを産業･行政･市民･教育機関などが共有し、海の課題を解決する「海洋文化都市」を目指します。

関係者の声

世界で唯一無二の 海洋リモートセンシング拠点に



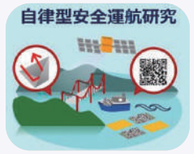
広島大学海洋リモートセンシング技術センター長
教授　作野（さくの） 裕司（ゆうじ）さん

開設した「海洋リモートセンシング技術センター」では、人工衛星を中心とした海洋環境を把握する研究などを進めていくとともに、学術研究だけでなく、漁業・養殖業、海運・造船業、港湾管理、環境保全、防災などの地域産業や行政に活用できる技術へ発展させること、その技術をベースとした次世代の海洋・海事に関わる地域産業や行政を担う人材を育てることを重視しています。

広島大学と呉市などが取り組む「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトとして、海洋環境の変化を科学的に可視化し、安全・防災・生産・教育をつなぐことで、若者が挑戦し、誇りを持って働ける社会の実現を目指します。

共創の場形成支援プログラムの採択

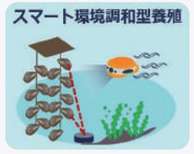
広島大学と呉市などは、「リモートセンシングを核とした海洋文化都市共創拠点プロジェクト」において、「若者が誇れる、挑戦できる新たな海洋社会空間の創出」を拠点ビジョンに掲げ、その実現に向けて次の４つの研究開発課題に取り組んでいます。



◀研究開発課題①
夜間・悪天候でも海の利用状況を見える化し、安全で効率的な海の運航につなげます。



◀研究開発課題②
日常から災害時まで海上リスクをいち早く把握できる環境を整えます。



▶研究開発課題③
新たな技術を地域の仕事につなげ、持続可能な産業づくりを進めます。



▶研究開発課題④
技術面での研究成果を実社会で活用する際の倫理的(E)･法的(L)･社会的(S)な観点における課題(I)を検証するための研究を行います。

今後の注目 イベント

くれマリンテックウィークの開催

大和ミュージアムで開催される「日本リモートセンシング学会学術講演会」と「マリンテックサミット」の期間を「くれマリンテックウィーク」とします。海洋・海事に関する最新の研究と技術が呉に集まります。

・11/26 (木)、11/27 (金)
日本リモートセンシング学会学術講演会

リモートセンシング研究の進展と知識の普及に関する事業を行い、学術の進展に寄与することを目的とした、一般社団法人日本リモートセンシング学会が呉市で開催されます。リモートセンシングに関する最新研究を求めて、全国から研究者・学生・企業技術者などが参加します。



▲過去の会議の様子

・11/28 (土)、11/29 (日)
マリンテックサミット

◀詳しくはこちら

海洋 AI・ロボティクス、藻場再生等の海洋環境保全技術といったマリンテックに関心を持つ起業家や研究者などを対象に、課題解決と新産業創出の場を提供するイベントです。中高生向けのワークショップも実施します。



▲前回のサミットの様子

2027 国際海洋リモートセンシング会議の開催

国際海洋リモートセンシング会議は、海洋リモートセンシング技術に関する専門家が世界中から集まり、最新の研究動向を共有し、国際的な協力を促進することを目的とした会議です。

呉市が推進する「海洋文化都市くれ」の取り組みの一環として誘致したことで、令和９年 10 月に呉市で開催される予定です。



▲2025会議（台湾・基隆市）の様子

海洋文化都市くれ海博 2027 の開催



▲過去のくれ海博の様子

海洋文化都市くれ海博は、「呉市・広島大学 Town & Gown 構想」を多くの人に知ってもらうとともに、子どもたちをはじめとする市内外の皆さんに、海洋・海事分野の魅力や可能性を身近に感じてもらうことを目的として開催しています。令和９年の開催は 10/30(土)・10/31 (日) の予定です。

「海洋文化都市くれ」の実現に向けた、これからの動向に注目です！

◀最新情報はこちら

個別の取り組みから共創へ

～くれマリンテック共創コンソーシアムの設立～

（令和８年 10 月５日設立）

海に関する新しい技術やビジネスに挑戦するスタートアップ企業を、広島大学や呉市、投資会社などが協力して支援する組織が設立されました。スタートアップ企業の研究開発や実証、事業化を後押しし、呉市から新しい産業を生み出すことを目指しています。

※マリンテックとは、海に関する先進的な技術の総称です。



▲くれマリンテック共創コンソーシアム設立発表会の様子

海洋系スタートアップするなら呉！

共創コンソーシアムの主要事業

- **試す** 実証フィールド・インフラの確保
- **生む** 共同研究・新たな技術と事業の創出
- **集う** スタートアップの活動拠点の確保
- **育てる** 資金の供給による成長の支援

≪コンセプト≫

世界から挑戦が集まる → 挑戦を試せる → イノベーション都市になる → 挑戦を育てる → 世界から挑戦が集まる

関係者の声

呉市が海洋技術分野の集積地に

私たちは投資会社として、地域から優れたアイデアや情熱を持った起業家の輩出や革新的な技術・サービスの創出などを目指しています。

これらを目指す上で、地域が活性化していることが不可欠で、新たな産業創出による社会問題の解決や多くの活力ある「場づくり」が必要と考えています。

今回の、呉市・広島大学を中心とした、革新的なマリンテックの集積から事業化に向けた多面的な取り組みを行うコンソーシアムの設立は、非常に有意義なものだと考えています。

こうした取り組みを通して、地域のより良い未来の実現に向け、一緒に取り組ませてください。



広島ベンチャーキャピタル
代表取締役社長　西岡（にしおか） 賢（さとし）さん